

## 1) Cinderella, R, Maxima をインストールする.

- ・ <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
- ・ <https://cran.r-project.org> (R)
- ・ <https://sourceforge.net/projects/maxima> (Maxima)

## 2) TeXをインストールする.

## 3) KeTCindyのインストール

## (1) ketcindy-master/forMacを開く

注) ketcindyのダウンロードページ

<https://github.com/ketpic/ketcindy>

注) 他のTeXを使っている場合

- ・ setketcindy.commandをテキストエディタで開く.
- ・ パスを修正する.
- ・ ketcindyfolder/scriptsのetouset.txtも適宜修正する.

## (2) ターミナルのshコマンドでsetketcindy.shを実行 (管理者権限必要)

- ・ scriptsの内容が選択したTeXの中にコピーされる.
- ・ ketcindyのstyleファイルがTeXにコピーされmktexlsrが実行される.
- ・ CinderellaのPluginsにKetcindyPlugin.jarがコピーされる.
- ・ また, ketcindy.iniが作成される.

## (3) ターミナルのshコマンドでsetwork.shを実行 (管理者権限不要)

- ・ 作業ディレクトリketcindyがユーザホームに作成される.
- ・ タイプセットの方法 (TeXの種類)  
通常は, platex (p)またはuplatex(u)を選ぶ.
- ・ ketcindyにworkフォルダの中身がコピーされる.
- ・ .ketcindy.conf (不可視ファイルだが編集可) がketcindyに作成される.  
注) TeXを切り替えるときなどはこのファイルを修正する.
- ・ マニュアルもコピーされる.
- ・ 作業ディレクトリにketcindy.confの雛形がコピーされる.
- ・ KeTCindyを立ち上げたとき, 設定ファイルは次の順に読み込まれる.

1) ketoutset.txt

2) ユーザホームの .ketcindy.conf

3) 作業ディレクトリketcindyの ketcindy.conf

## 4) KeTCindyのテストラン

- (1) 作業ディレクトリの中のtemplate1basic.cdyを選び, 「情報を見る」を開く.

- ・アプリケーションが所定のCinderella2になっていることを確かめる.
- ・「情報」を閉じて, template1basic.cdyをダブルクリックする.
- ・画面に白い枠が出れば, ライブラリの読み込みは成功.

(2) スクリーンの左上部にあるFigureボタンを押してPDFが表示されれば成功.

#### 5) TeXworksの設定 (kettexの場合)

- ・ TeXworksを立ち上げる
- ・ 次を選択
  - TeXworks > 環境設定 > タイプセット
- ・ 上の欄 (パス) に以下を追加
  - /Applications/kettex/texlive/bin/x86\_64-darwin
  - 注) 上の行を上欄の先頭になるように移動する.
- ・ 下の欄の横にある + をクリック
  - 名前: uplatex(ptex2pdf)またはplatex(ptex2pdf)
  - プログラム: ptex2pdf
  - 引数:
    - u (uplatexの場合のみ)
    - l
    - ot
    - \$synctexoption
    - \$fullname

OKボタンを押し, デフォルトを変更してOKボタンを押す.

#### 6) gccをインストール

- ・ 曲面描画のためには, gccが必要である.